



びっきー

第2号

【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく
生きる生徒の育成

令和2年度入学式

4月9日(木)、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて、令和2年度入学式を挙行了しました。町長、教育長、育友会会長以外の来賓の方にはご遠慮いただくとともに、保護者は2名まで、在校生は代表者の1名のみで、規模縮小や3密(密閉・密集・密接)の状況を作らないよう配慮しながら実施しました。入学式の式辞もメッセージという形で時間短縮を行いました。式辞の内容を紹介します。

日増しに暖かくなる春の日差しを受け、薄桃色に咲き誇る桜の息吹と爽やかなそよ風を全身に感じるこの良き日に、中学生としての第一歩を踏み出す90名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは六ヶ年の小学校課程を修了し、本日晴れて江北中学校の生徒となった皆さんの入学を教職員一同、心よりお祝いし、歓迎いたします。この江北中学校の輝かしい歴史と伝統を引き継ぎ、中学生としての自覚を持ち、充実した3年間を送ってくださることを期待しています。

現在も新型コロナウイルスの感染が全国、世界に拡散し、日本においても一昨日、首相から緊急事態宣言が発令されました。これからはしばらく気が抜けない日々が続くことと思いますが、この見えない敵とどう立ち向かっていくか、今後もしっかり各自が意識して感染予防対策を取っていきましょう。

そういう状況の中で、規模縮小、時間短縮など、安全確保を最重視した対策を講じての入学式を挙行せざるを得ないことをどうかご理解いただきたいと思います。

新入生の皆さんは、昨年10月に朝から中学校に登校し、中学校の授業にあわせた学習を体験したと思います。ほとんどの人が楽しかったと笑顔で下校してくれていました。あの時の体験入学と違って、本当に入学した今、希望と不安が入り混じった複雑な気持ちでいることと思います。今日から中学生としての生活が始まる今日の喜び、豊富や決意など初心を忘れることなく持ち続け、3年後には充実感や成就感をもって成長してくれることを期待しています。

さて、皆さんの入学に当たり一つだけお話をします。それは、中学校で「学習」とはということかという話です。皆さんは、つい1週間前までは小学生でした。小学校と中学校の違いを一言で言えば、小学校は子どもの学校で、中学校は大人になる準備をする学校だと言うことです。皆さんは今日から、電車やバスに乗るときは大人料金を払わなければなりません。これは社会から子ども扱いをしないという宣言のようなもので、中学生が子どもではないことを象徴しています。皆さんは今日からこの江北中学校の3年間で自己を確立し、持っている能力に磨きをかけ、大人になるための学習をしなければならないのです。皆さんは、「小学校でも学習をしてきた」と思いますが、しかし、小学校と中学校の学習は違うのです。それでは中学校で「学習」とはいったいどういうことなのでしょう。

学習という言葉は「学ぶ」という字と「習う」という字からできています。両方とも勉強すると

いう意味ですが、少しニュアンスが違います。「学ぶ」は主体的に知識や技術を身に付けると言う意味で、「習う」は教えてもらうという受け身の意味があります。小学校では、先生に教えてもらうという「習う」部分が多かったかもしれません。しかし、中学校では、先生に教えてもらうだけでなく、授業や生徒会活動、部活動などで、自分自身で主体的に「学ぶ」ことが求められます。これが大人になる準備をするための中学校の学習です。

また、中学校では何を学ぶかも大切です。学校は教科での知識や考え方だけを学ぶ場では決してありません。学級や部活動の中で人間関係を学び、心身を鍛え、社会の一員になるための基礎を作る場でもあります。学びは決して楽なものではありません。一度で理解できないことやうまくいかないこと、考えが出てこないことがほとんどです。1度でだめなら2度やり、2度でだめなら3度やるという繰り返し、粘り強く、しかも、もう子どもではないので先生や親から言われなくても自ら学ぶことが大切です。つまり、これが主体的に学ぶということです。また、学級や部活動での人間関係がうまくいかずに悩むこともあるでしょう。一人で悩まず、先生やカウンセラーと相談しながら解決を図っていくことも学ぶということになります。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の中学校へのご入学誠におめでとうございます。中学生は青年前期に当たり、自我が形成され、個が確立し、大人への第一歩を踏み出す大切な時期です。この三年間で、周りが驚くほど、肉体的にも精神的にも逞しく成長をします。また、生徒同士の間関係も表面的なものから深まっていき、切磋琢磨しながら成長をしていきます。さらに、この時期はちょっとしたことで、トラブルを起こしたり、自信を失ったりと、精神的に不安定になりがちな時期でもあります。人間は様々な障害や失敗を乗り越えてこそ成長をするものであり、我々大人の責務は、こうした生徒の成長の過程を見守り、適切な指導を行うことだと思っています。

学校は、生徒の学びの場であり、教育機関です。教師は教育の専門家であります。しかし、個々のお子さんを一番よく知り、その子にとっての最大の教育者はそれぞれのご家庭です。心の安定を支える家庭教育はお子さんにとって大きな支えとなります。集団を計画的に教育する学校とお子さんの心を支え教育するご家庭とが、同じ方向を向き、協力し合うことが、生徒個々の成長には欠かせません。ぜひ、学校と家庭とが連携・協力関係を持ち、一人一人のお子様の成長のために力を合わせていきましょう。

何かございましたら、担任または教職員に気軽にご相談ください。

江北町より布製マスク配布

TV 等でも報道されましたが、市場におけるマスクの在庫不足が深刻化する中、江北町から布製のマスクが配布されました。洗って繰り返し使用できるマスクです。布マスクの正しい洗い方について、洗濯機で洗わず・・・などネットにも掲載されているので、確認し、できるだけ長く使えるようにしてください。政府からも、全国のすべての世帯を対象に 1 住所当たり 2 枚の布マスクを配布することが報じられました。あわせて、大事に使用してもらいたいと思います。厚生労働省及び経済産業省の布製マスクの洗い方の動画が作成されていたので紹介します。→→→→→→→→ (YouTube) →→→→→→→→

